



コロナ禍の特別な夏も終わり日々秋が深まっています。まだまだ終息には遠くインフルエンザの流行も危惧される中で自粛生活や治療への不安を抱いている方も少なくないと思います。不安な思いを一人で抱え込まないことや新型コロナウィルス感染症を正しく恐れて自分のできる対策をしながら生活を楽しむ方法を見つけることが大切だと思います。



～笹倉山の頂から大学病院を眺めて～



東北大学病院緩和医療科 臨床宗教師 金田諦晃さん

病棟の北側の窓から眺める七ツ森の、一番高い山（笹倉山）にいつか登ってみようと思っていたが、ついにその機会が訪れた。山頂に辿りつき、今度は反対に大学病院を眺めてみたが、双眼鏡でやっと発見できる程度であった。「思っていたよりもずっと距離があるんだなあ」と小さな発見であった。山頂には、“無病息災”など健康を祈願する薬師如来像を祀る薬師堂が建っていた。手を合せ、登頂した疲労感もある中で「よくこんな高い所にお堂を建てたものだなあ」と、お堂を建てた当時の人々の暮らしや想いに興味を抱いた。帰宅後、お堂が建てられた時代の様子を調べてみた。すると、洪水や冷害などの自然災害や、天然痘などさまざまな疫病の流行により、多くの人の命が奪われた歴史があったことを知った。「ああ、あの薬師堂はただ建っているのではなくて、過酷な時代を生きた人たちの、平穏な日常への切実な願いや祈りが込められていたんだな…」と、当時の人々の想いに身を寄せた。そして、今の時代を生きる自分自身をみつめた。

昨今、まさに自然災害やウイルスの蔓延により、平穏な日常が奪われようとしている。そして、“当たり前”と思い込んでいた日常が実は”当たり前”ではなく、いくつもの奇跡が重なり合った瞬間の連続なのだということに気がつかされている。ある偉人が語ったように、奇跡など全く起こらないかのように生きるのか、すべてが奇跡であるかのように生きるのか。日々の心がけが少し変わるだけで、みえる景色や生き方も変わってくるのかもしれない。時折、七ツ森を眺めながら、そのことを思い出している。



「臨床宗教師」とは？

東北大学大学院文学研究科において専門的な訓練を受けた、布教・伝道をせず心のケアに携わる宗教者のことを言います。海外では「チャプレン」と呼ばれており、病院や福祉施設、軍隊や警察や刑務所などさまざまな公共の場所で活動しています。東北大学病院でも医療チームの一員として働いています。



お知らせ!!

東北大学病院がん診療相談室では、就労や障害年金などについて社会保険労務士、ハローワークの就労ナビゲーターによる相談会を行っています。詳しくはがん診療相談室に問い合わせるかホームページを確認ください。

リレーフォーライフ 2020 のイベントは新型コロナウイルス感染症蔓延により中止されましたが、4回にわたりオンラインでイベントを行っています。1回目（8月26日）のテーマ：RFL2020 みやぎ～ Celebrate 祝う～はYouTubeで公開されていますのでご覧ください

宮城県では「がん患者生殖機能温存治療費助成事業」が始まりました。小児・AYA（思春期・若年期）世代のがん患者さんが、がん治療前に行う生殖機能温存治療の費用の一部が助成されます。

リサーチ：秋の食材「そば」



秋は新そばの季節です。

そばはむかしから体にいいといわれ、ビタミンB1を豊富に含みバランスのよいアミノ酸組成をしています。またルチンも多く毛細血管を強化し高血圧や体の酸化防止などの効果があります。そば粉100%は十割そば、そば粉2割、小麦粉8割は二八そば、それぞれおいしいですが、健康やダイエットには十割そば、食感やおいしさでは二八そば、抗酸化作用のルチンを多く摂りたい方は100倍以上多く含む「韃靼（だつたん）そば」がおすすめです。

～院内の庭で見つけた秋～



ムラサキシキブ



仙台萩

東北大学のシンボル

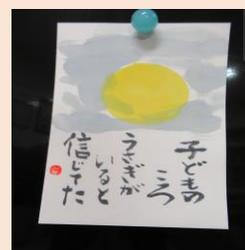


百日草など

撮影：R2.9.17

ゆいの風景

ステキな作品が届いています



編集：古山・油井・山内